

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)	良くなる	一般小売店〔鮮魚〕 (従業員)	・北陸新幹線開業によって、まだ誰も経験したことのない状況になっているが、かなり少なく見積もっても上半期は好調を維持できるだろう。その後は未知数である。
		高級レストラン(スタッフ) 観光型旅館(スタッフ)	・旅行客も伸びているが、年内は大型コンベンションや学会が多く、北陸新幹線効果を大きく期待できる。 ・予約状況は北陸新幹線開業の影響もあり前年比で4月130%、5月180%、6月238%、7月173%と、予約が大幅に早まっている。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・この先、北陸新幹線効果、大手企業の給与増加効果、株高の効果、夏の「プレミアム付商品券」効果などがあり、地元の人々の購買意欲も上向いてくるものと予想される。
		一般小売店〔精肉〕 (店長)	・北陸新幹線効果で、徐々に街中まで客が来ているように感じられる。このまましばらくは、新幹線効果が期待できると思われる。
		百貨店(売場主任) 百貨店(営業担当)	・株価の上昇だと思ふ。 ・3月から客足が駅方面に集中していたが、それも落ち着くであろうと予想する。地元客が戻り、例年並みの売上となるのではないかと考えている。
		スーパー(総務担当)	・北陸新幹線開業効果で金沢近郊店舗では県外から来たと思われる客の増加が見受けられ、飲食店やホテルなどが好調のことから景気はやや良くなると思われる。ただし、加賀方面は良い兆しは感じられない。
		衣料品専門店(経営者)	・地場金融機関の幹部の話では、県外の商売の多い企業は既に良くなっているが、県内対象の小売業はだめということである。賃上げは相当に広まっているようであり、徐々に当地にも波及するのではないかと。株高は個人も会社にとっても、ばかにならないくらい影響が出てくるのではないかとということであった。
		家電量販店(店長)	・消費税増税によるエアコン前倒し購入の影響もなくなり、夏場は猛暑で夏物商品に期待が持てる。
		家電量販店(店長)	・話題性の高い商品に問い合わせが多く、需要も上がっている。生活家電、理美容商品は以前から需要が伸びていたが、今月に入りハイレゾオーディオ、ウェアラブル機器やスマートウォッチなどの趣味嗜好性の高い商品も問い合わせが増えている。
		乗用車販売店(従業員)	・展示会やDM発送などの効果に期待している。
		住関連専門店(店員)	・北陸新幹線の開業もあり、地元へ入ってくる観光客が増加している。その流れでの地域事業の活性化もあり、地元でのお金の動きがやや上向きになっている。緩やかではあるが、消費者マインドにも好転の兆しが見て取れる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	・新製品や趣味趣向商品を中心に需要が期待できそうだ。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・レジャー、旅行関連のグッズの動きが好調で、本格的なゴールデンウィーク需要やその後の夏休みに向けて期待がもてる。
		一般レストラン(店長)	・観光客の動きはやや良くなっているように感じるが、地元客はまだまだと感じる。
		観光型旅館(経営者)	・5月以降の予約も順調で、前年比20%程度増加している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・宿泊は順調に予約が入っている。宴会はこれから大型案件も受注しているので回復すると思われる。一方で地元客の回復感には少ないのが気がかりである。
		都市型ホテル(役員)	・宿泊部門は引き続き好調に推移する。一般宴会での大型会合の受注により、全体では微増する。
		旅行代理店(所長)	・北陸新幹線の開業により旅行需要が掘り起こされている。
		タクシー運転手	・北陸新幹線効果が、ますます増えるように思う。タクシー利用客も、以前より増加している。今後も利用客の多い状態が維持されると思われる。
		通信会社(役員)	・新たに投入した商品の販売も好調であり、今後の更なる普及、増収に期待している。
		通信会社(営業担当)	・新機種需要がある客の来店が増えると思われる。
		テーマパーク(職員)	・北陸新幹線の開業効果が広がりを見せつつある。その影響もあり、今後2～3か月先は現在よりもやや良くなる傾向にあると思う。特に関東からの客の増加が大きく期待できるほか、注目度が高まった影響で中京圏や関西圏からの客も増加傾向にある。
その他レジャー施設(職員)	・記念セールを継続すると同時に、第二弾、第三弾の販促を打って集客を伸ばしていけるという期待をもっている。		

	美容室（経営者）	・地方にも好景気の流れがやってくるとの期待感が出てきた。
	住宅販売会社（従業員）	・政府の住宅政策の効果が出てきている。ゴールデンウィークのイベント動員も目標を達成できており、来客数も多い。
	住宅販売会社（従業員）	・省エネ住宅ポイントが客の動きのきっかけとなることを期待したい。
変わらない	商店街（代表者）	・需要増や品薄による自然な物価上昇と違って、円安や原材料高による物価上昇という現象が影響して、景気が余計に後退してしまっているように思える。
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・今月の動きから現状は本当に厳しく、良くなる要素もなく、今のところ変わることはない。
	百貨店（営業担当）	・5月ということで連休、行楽、旅行について、例年よりも多くの旅行者が出ると予想されている。そうしたことから、旅行で着る服装や旅行かばんといった需要は、北陸新幹線開業の影響もあり通常の年よりも若干高まるのではないかと。ただ、6～7月の初夏については、ファッション商材は新幹線開業により、東京で買うという購買行動が見受けられるのではないかと気がしている。
	スーパー（店長）	・去年は消費税増税の反動があったので、前年比での需要増はあるものの、今後それが長く続くことはないと思われる。今後の天候による影響で生鮮食品の動きは大きく変化すると感じている。
	スーパー（総務担当）	・社会保障費用は増加しているが、ベースアップを実施した企業も多く、景気は現状維持で推移するのではないかと。
	スーパー（統括）	・今後の景気ということでは、4月は前年の消費税増税の影響があったので、なかなか判断がしきれない。このままの状況が将来まで続くのか、また野菜や畜肉が単価を押し上げるという部分がどこまで続くかによって、3か月先の景気については変わってくると思う。
	コンビニ（経営者）	・たばこの売上減少が相変わらず続いている。コーヒーだけは調子が良いが、それ以外のものについては相変わらず低迷している。
	コンビニ（経営者）	・今のところ、良くなる要素も悪くなる要素も見いだしていない。天候や気温の上昇などに左右される立地のコンビニであることから、気温が上がれば飲料などの粗利益の高い商材の売上が少しでも上昇してくれるよう願っている状況である。
	コンビニ（店長）	・今までが悪すぎた状態であり、今月は前年比プラスになり良くなる兆しは見たのだが、今年は消費税増税に関連するネガティブな影響はないのもう少し前年比が上回らないと継続してややプラスになると言えないと思っている。天候によってもどう変わるか読みにくい。また、今より悪くなるのはあまり考えたくなく、横ばいになると思いたい気持ちもある。
	コンビニ（店舗管理）	・外食産業から、我々のような中食へ流入している感はあるものの、食材の値上がりで利益率は悪化してきている。
	衣料品専門店（経営者）	・北陸新幹線開業から1か月あまりであり、その影響は不透明である。明るい要因はまだ見受けられない。
	乗用車販売店（経営者）	・同業他社の状況を聞いても、当社同様に客の来場はめっきりと少なくなっている様子がうかがえる。しばらくはこの状況が続くと思う。
	自動車備品販売店（従業員）	・昨年に消費税増税の反動があったので、上期までは前年比では伸びる予想を立てているが、2013年度実績から判断しても厳しい状況は続くと思われる。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・当地の景気が良くなるのはまだまだだと思ふ。
	一般レストラン（統括）	・食材の高騰や人件費の高騰など経営課題は厳しい状況が続いているが、北陸新幹線効果による売上増と来客数増でそのマイナス要因をカバーしている。
	スナック（経営者）	・このままの平穏な状態であれば変わらないと思うが、国内問題や国際要因次第では、マイナスに転じるのではと思う。
通信会社（営業担当）	・問い合わせは電話も含めて増えてきてはいるが契約に結び付くケースが少なく、大きな変動の要因は感じられない。	
通信会社（店舗統括）	・特に上向き要素は考えられない。	
競輪場（職員）	・開催日数が増加する時期に突入するが、売上が分散され、1日当たりの平均売上額が低下する。	
住宅販売会社（従業員）	・受注数字はほぼ計画通りになっているが、価格帯は低下傾向にある。また、交渉時間の長期化が見られ、完工数字に結びつかない懸念が生じてきた。	

	住宅販売会社（従業員）	・すまいの給付金やエコポイントの復活も消費者に浸透しており、現在の状況は続くと思われる。ただし、エコポイントについては早期に予算を使い切る予想であり、今後のエコポイント利用動向を把握しながらの客対応が必要である。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・アウトレットモールの開業が予定されているが、珍しいものの好きの土地柄であり、アウトレットモールのスケールも大きいので、大きな影響を受けて来客数は減ると予想される。	
	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・北陸新幹線特需が一段落しそうな雰囲気が見え始めている。	
	百貨店（営業担当）	・大型アウトレットや大型スーパーがオープンすると、また他方面に流れる可能性が大きいと思う。	
	タクシー運転手	・夜の繁華街の客の入り、変わらず悪い。	
	通信会社（職員）	・競合相手の勢力が増している。	
	通信会社（役員）	・最近、問い合わせ数など客の反応が芳しくない。今後の契約数に影響が出ると考える。	
悪くなる	-	-	
良くなる	-	-	
企業 動向 関連 (北陸)	やや良くなる	プラスチック製品製造業（企画担当） 精密機械器具製造業（経営者） 建設業（経営者） 通信業（営業担当） 不動産業（経営者） 司法書士 税理士（所長）	・ベア実施の企業が多く、株価の上昇などもあり、消費動向は着実に上昇すると考えられる。 ・国内市況としては一部厳しいエリアや業態は引き続き残るものの、特に大都市圏の販売先からは春節特需などの影響を含め、商品仕入を増やしつつある感触が見て取れる。 ・今年こそ国だけでなく県や市町村でも、公共事業の平準化した発注が実行され、5～6月に例年より多くの工事が発注されるのではないかと期待感がある。 ・製造業は大手自動車メーカーの好調さもあって元気がいいし、医薬品関連も引き続き好調ということもあり、通信関連に関わる設備投資も顕著に出てきている。 ・現在は個人からの問い合わせが少し出てきたことと、法人からの問い合わせもくるようになった。 ・北陸新幹線開業の影響が福井にも及んでいるようで、関東圏からの人物の交流が増えているという話を聞く。 ・企業の収益や決算関係を見ていると、数字が安定している。利益を計上する企業も徐々に増えてきている感じがあり、社長方の話でも受注の見通しがいいというよりも受注の価格設定の話が多い。一部の下請け企業の話では、あまり価格を安くすると採算が厳しいので、以前よりもある程度高い価格での設定が可能になっている。消費者関係の卸小売業についてはまだ厳しいものの、もう少し価格が上がることに世の中が寛容になれば、景気は持続的に回復するようになると思う。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・国内消費の拡大に期待がかかるが、タイムラグもあり、しばらくは今の状態が続くそうである。
		繊維工業（経営者）	・為替も安定しており、輸出に期待をしたい。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合をみて、そのように思った。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・為替も安定しており、海外を中心とした受注動向について大幅に変動することはないと思われる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・国内外とも引き続き順調に引き合いがあり、好景気が継続している。
		建設業（総務担当）	・受注環境は地域間に格差が生じており、価格競争が厳しい地域と緩和している地域があり、先行きはどうか見通しは不透明になっている。
		輸送業（配車担当）	・特に住宅や白物家電などの国内消費が動かないため、運送業としての荷物の物量は今後急速に増加すると感じられない。
金融業（融資担当）		・観光客やインバウンドの需要は強いが、地元個人消費が活発になるところまで至っていない。ただし石川県では求人状況も良好であり、個人消費の拡大につながっていく可能性も十分にある。	
金融業（融資担当）	・北陸新幹線開業の影響も観光業界には好影響を与えているが、一般には影響が薄れつつある状況である。逆に、住宅や建設業界から大型案件が少なく、良い話が聞こえてこない。産業界の質上げが進みつつある状況から内需の消費拡大が広まらなければ、景気も下ブレする心配すらある。		
新聞販売店〔広告〕（従業員）	・前月は北陸新幹線開業に伴い若干の動きはあったものの、4月はその反動で動きは鈍い状況である。統一地方選も重なり、今年度の動きは5～6月の状況を見ないとつかめない。建築、不動産の動きが4月になっても鈍いのもこの状況を物語っているのではないだろうか。		

	やや悪くなる		
	悪くなる	食料品製造業（役員）	・為替の円安効果にて輸入原材料の高騰の影響が徐々に大きくなり、収益力の低下で厳しい環境を迎える。
雇用 関連	良くなる	職業安定所（職員）	・今のところ、新規求職者の件数や新規求人の件数の中で、不安な状況はみられない。
(北陸)	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕 （役員）	・7月の大型アウトレットモールの開業など、流通分野での雇用が創出されるものと思っている。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・スーパーなどで今まで残らなかった値引き品が残るようになってきているので、安いことそのものが買物にとって一番の選択理由でなくなってきているのでは、という感じがしている。
		職業安定所（職員）	・3月の北陸新幹線開業に続き、7～8月に県内でアウトレットモールやショッピングモール、会員制大型量販店がオープン予定であり、それに伴い求人の増加や購買意欲が刺激されると思われる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新たに開業する商業施設などの関連求人活動は続くものと思われる。
変わらない		人材派遣会社（役員）	・新卒採用組が落ち着きを見せており、新規需要は期待できそうもない。
		人材派遣会社（社員）	・この先3か月は、あらゆる職種で人材不足感はしばらく続くものと思われる。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・北陸新幹線が開業したが、期待していたほど求人募集が伸びていない。
		職業安定所（職員）	・業績が伸びている事業所がある一方で、燃料費、材料費の高騰の影響により、依然として先行きを不安視している事業所もある。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-